

# 2012年度第3四半期決算



2013.1. 31. TOTO

## 増収増益決算

### 国内住設・海外住設とも売上伸長、コストリダクションの推進により大幅増益

#### 【国内住設事業】

- ・リモデル売上は、新商品の販売が好調に推移し、前年比 +5%
- ・新築売上は、引き続き新設住宅着工の持ち直しを背景に伸長、前年比 +3%

#### 【海外住設事業】

- ・世界経済が減速傾向にある中、増収増益を維持
- ・米州事業は、新商品等のセールスプロモーションを推進、売上前年比 +8% \*
- ・中国事業は、不動産抑制政策による市況の影響を受けつつも、売上前年比 +8% \*  
(\*現地通貨ベース)

#### 【新領域事業】

- ・環境建材の売上は前年並み、セラミック事業は第3四半期に半導体製造装置等の構造用部材が改善するも売上は前年割れ

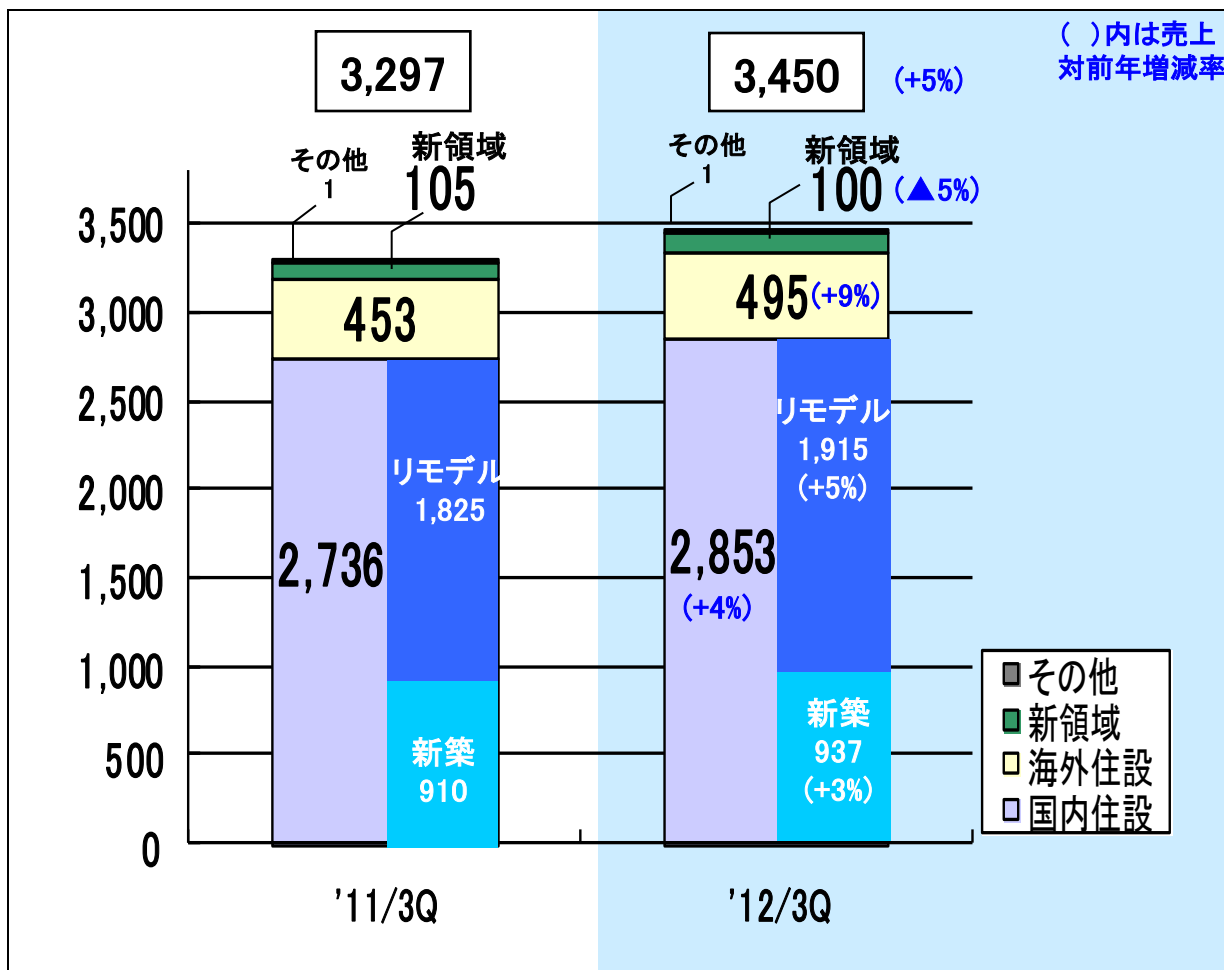
## ■P/L概要

単位：億円(未満は切り捨て)

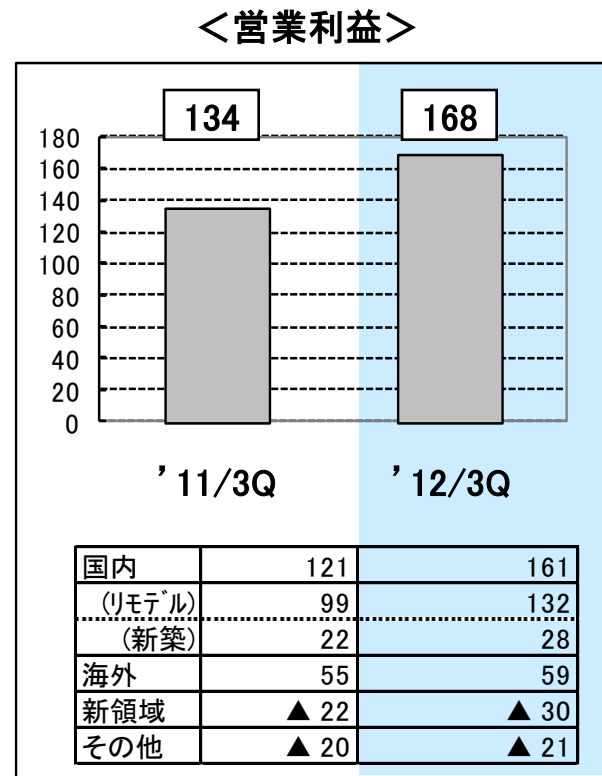
	'11/3Q 実績	'12/3Q		対前年増減 (増減率)
		計画	実績	
売上高	3,297	3,450	<b>3,450</b>	+153 (+5%)
営業利益	134	155	<b>168</b>	+33 (+25%)
経常利益	139	165	<b>185</b>	+46 (+33%)
特別損益	▲ 30	▲ 30	<b>▲ 25</b>	+5
当期純利益	60	110	<b>129</b>	+69 (+115%)

売上の伸長に加え、コストリダクションの推進により、大幅増益

## ■ 需要分野別売上高



単位：億円(未満は切り捨て)



国内(新築・リモデル)・海外ともに伸長、増収増益

## ■国内住設事業の商品別売上高

単位：億円(未満は切り捨て)

	'11/3Q	'12/3Q	
	売上高	売上高	前年比 (%)
レストルーム計	1,071	1,106	+3%
水栓機器			+5%
浴室			+0%
キッチン・洗面			+0%
バス・キッチン計	※1 1,491	1,522	+2%
その他計	※1 250	287	+15%
合計(調整前) ※2	2,813	2,916	+ 4%
<b>国内住設合計</b>	<b>2,736</b>	<b>2,853</b>	<b>+ 4%</b>

※1 2011年度実績数値に一部誤りがございましたので、訂正いたします。

※2 セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。

## ■海外住設事業の市場別売上高

(単位:百万ドル) <現地通貨での業績>			
米州	'11/3Q	'12/3Q	増減率
売上高	143.6	155.5	+8%
営業利益	▲ 5.1	1.5	-
(為替 円/\$)	76.7	77.6	
(単位:億人民元) <現地通貨での業績>			
中国	'11/3Q	'12/3Q	増減率
売上高	20.2	21.8	+8%
営業利益	4.6	4.5	▲3%
(為替 円/人民元)	12.0	12.3	
(単位:百万ドル) <現地通貨での業績>			
アジア・オセアニア	'11/3Q	'12/3Q	増減率
売上高	109.5	113.2	+3%
営業利益	11.5	8.7	▲24%
(為替 円/\$)	76.7	77.6	
(単位:百万ユーロ) <現地通貨での業績>			
欧州	'11/3Q	'12/3Q	増減率
売上高	16.0	18.2	+14%
営業利益	▲ 5.1	▲ 4.5	-
(為替 円/ユーロ)	104.1	100.2	

(単位:億円)		
'11/3Q	'12/3Q	増減率
110.0	120.6	+10%
▲ 3.9	1.1	-

(単位:億円)		
'11/3Q	'12/3Q	増減率
243.1	268.7	+11%
55.7	55.6	▲0%

(単位:億円)		
'11/3Q	'12/3Q	増減率
83.9	87.8	+5%
8.8	6.7	▲23%

(単位:億円)		
'11/3Q	'12/3Q	増減率
16.6	18.2	+9%
▲ 5.3	▲ 4.5	-

(単位:億円)		合計
'11/3Q	'12/3Q	増減率
453.8	495.5	+9%
55.3	59.0	+7%

世界景気が減速する中、全地域で売上が伸長  
米州事業は増収増益、中国事業は増収を維持

## ■営業利益の増減益要因

単位：億円(未満は切り捨て)

増減要因		'12/3Q 実績		
プラス 要因	コストリダクション	従前のコストリダクション	+31	+63
		Vプランコストリダクション	+32	
	リモデル売上高の増加	+31		
	新築売上高の増加	+8		
	海外住設損益	+4		
マイナス 要因	原材料の値上がり	▲7		
	Vプラン投資(衛陶工場稼働による初期コスト等)	▲19		
	販売強化投資	▲14		
	労務費関連の増	▲13		
	普及品市場(ホリウムゾーン)拡大のための対応	▲13		
	その他	▲7		
合計		+33		

## 増収・増益計画

コストリダクション効果と為替変動により、売上・利益とも上方修正

営業利益はリーマンショック前の水準まで回復

### 【業績修正】

- ・国内住設事業の売上およびコストリダクションの進捗が計画を上回り、増益に寄与
- ・為替の変動を受け、海外住設事業の売上・利益を上方修正

### 【国内住設事業】

- ・住宅市場の持ち直しを背景に売上が伸長するとともに、コストリダクションが進み、リモデル・新築とも増収増益の見込み

### 【海外住設事業】

- ・中国での不動産市況減速、アジア・オセアニアの一部地域で市況停滞はあるものの、各市場で売上を伸ばし、海外全体では増収増益の見込み

### 【新領域事業】

- ・売上が想定より伸びず、計画を下方修正



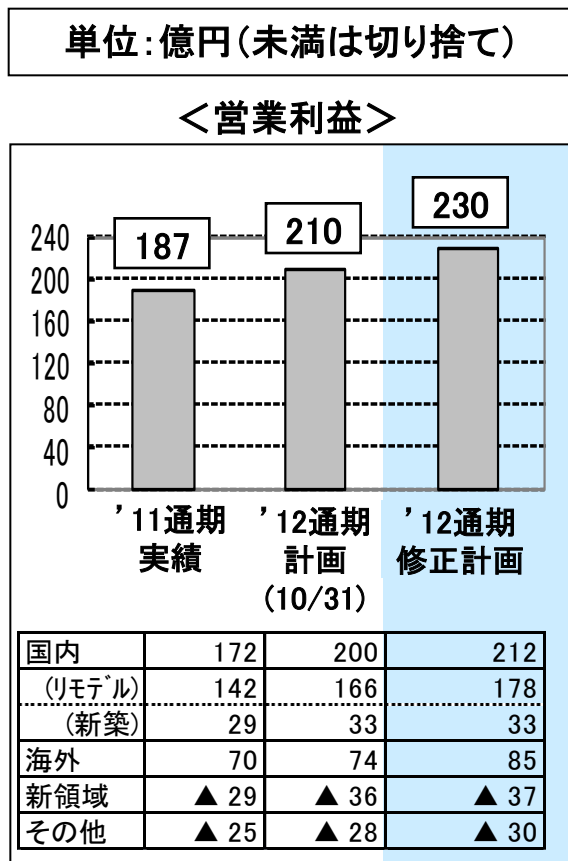
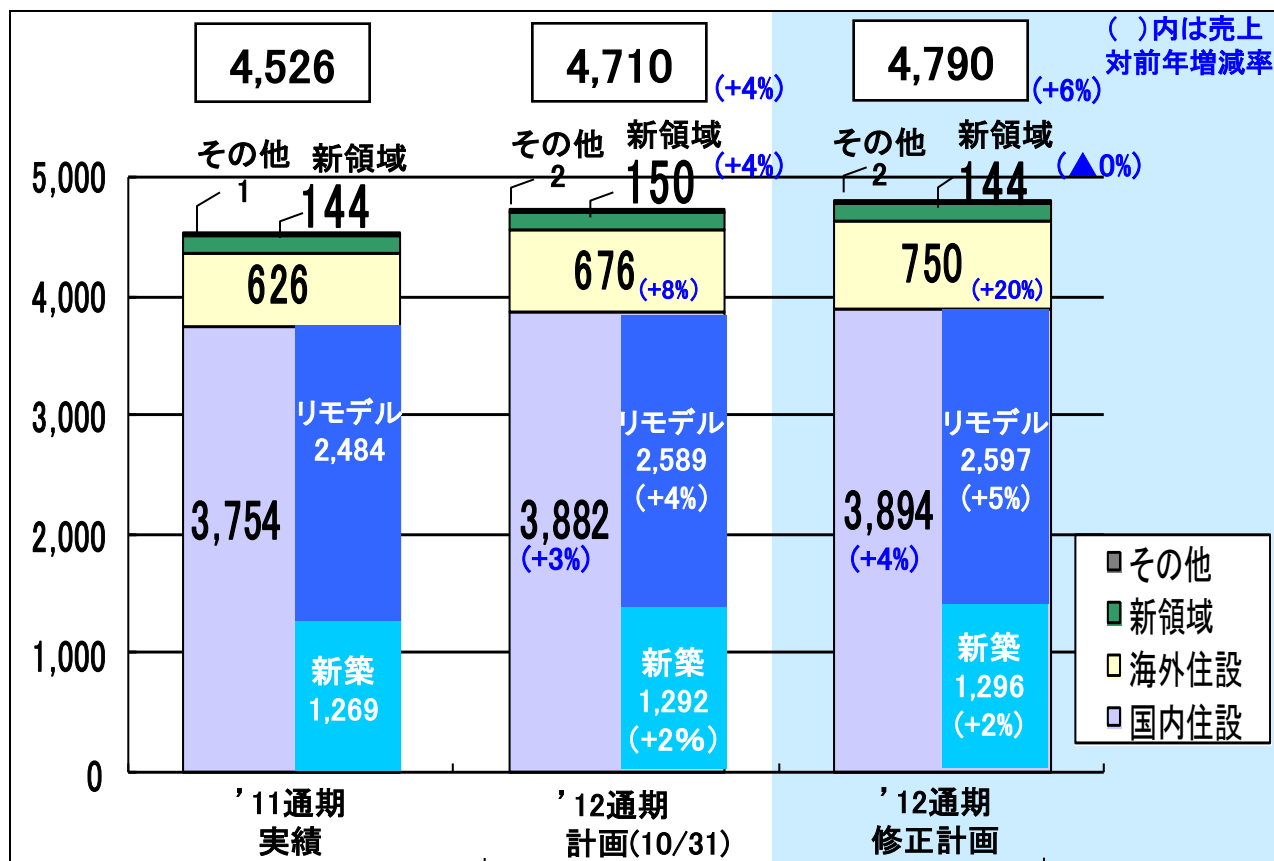
## ■P/L概要

単位：億円(未満は切り捨て)

	'11年度実績	'12年度計画		対前年増減 (増減率)
		計画 (10月31日修正)	修正計画	
売上高	4,526	4,710	4,790	+ 264 (+6%)
営業利益	187	210	230	+42 (+23%)
経常利益	195	220	250	+55 (+28%)
特別損益	▲ 39	▲ 45	▲ 40	▲ 1
当期純利益	92	130	160	+ 68 (+73%)

# '12年度 通期計画の修正

## ■ 需要分野別売上高



83万戸  
81万戸

86万戸(+3%)  
85万戸(+5%)

...新築着工戸数(1-12月)  
...納入時期ベースの需要

コストリダクションの推進と為替変動の影響により、  
売上・利益とも計画を上方修正

## ■国内住設事業の商品別売上高

単位:億円(未満は切り捨て)

	'11年度	'12年度計画	
	売上高 (億円)	売上高 (億円)	前年比 (%)
レストルーム計	1,461	1,494	+2%
水栓機器			+3%
浴室			+1%
キッチン・洗面			+1%
バス・キッチン計	※1 2,005	2,043	+2%
その他計	※1 392	440	+12%
合計(調整前) ※2	3,859	3,978	+3%
<b>国内住設合計</b>	<b>3,754</b>	<b>3,894</b>	<b>+4%</b>

※1 2011年度実績数値に一部誤りがございましたので、訂正いたします。

※2 セグメント間の内部売上高又は振替高を含みます。

## ■海外住設事業の市場別売上高

	(単位:百万ドル) <現地通貨での業績>		
米州	'11年度	'12年度	前年比
売上高	191.9	209.5	+9%
営業利益	▲ 8.3	3.1	-
(為替 円/\$)	77.7	86.5	

	(単位:億人民幣元) <現地通貨での業績>		
中国	'11年度	'12年度	前年比
売上高	27.4	29.1	+6%
営業利益	5.9	5.8	▲2%
(為替 円/人民幣元)	12.3	13.9	

	(単位:百万ドル) <現地通貨での業績>		
アジア・オセアニア	'11年度	'12年度	前年比
売上高	153.8	157.9	+3%
営業利益	15.0	11.4	▲24%
(為替 円/\$)	77.7	86.5	

	(単位:百万ユーロ) <現地通貨での業績>		
欧州	'11年度	'12年度	前年比
売上高	19.4	23.8	+22%
営業利益	▲ 7.8	▲ 7.0	-
(為替 円/ユーロ)	100.7	114.7	

(単位:億円)		
'11年度	'12年度	前年比
149.1	181.0	+22%
▲ 6.4	3.0	-

(単位:億円)		
'11年度	'12年度	前年比
337.7	405.0	+20%
72.9	80.0	+10%

(単位:億円)		
'11年度	'12年度	前年比
119.5	137.0	+14%
11.6	10.0	▲15%

(単位:億円)		
'11年度	'12年度	前年比
19.5	27.0	+39%
▲ 7.8	▲ 8.0	-

(単位:億円)	合計	
'11年度	'12年度	前年比
626.0	750.0	+20%
70.2	85.0	+21%

全地域で増収を見込むとともに、  
為替変動の影響により、計画を上方修正

# '12年度 通期計画の修正

## ■ 営業利益の増減益要因(前年差異)

単位: 億円(未満は切り捨て)

増減要因			'12年度 修正計画		'12年度 計画 (10月31日修正)	
プラス 要因	コストリダクション	従前のコストリダクション	+ 43	+ 86	+ 43	+ 84
		Vプランコストリダクション	+ 43		+ 41	
	リモデル売上高の増加			+ 39		+ 37
	新築売上高の増加			+ 8		+ 7
	海外住設損益			+ 15		+ 3
マイナス 要因	原材料の値上がり			▲13		▲12
	Vプラン投資(衛陶工場稼働による初期コスト等)			▲25		▲25
	販売強化投資			▲21		▲21
	労務費関連の増			▲20		▲18
	普及品市場(ホリウムゾーン)拡大のための対応			▲17		▲17
	その他			▲10		▲16
合計				+ 42		+ 22

このプレゼンテーション資料は、2013年1月31日現在の将来に関する前提・見通し・計画に基づく予測が含まれています。世界経済・競合状況・為替の変動等にかかわるリスクや不確定要因により実際の業績が記載の予測と大幅に異なる可能性があります。

あしたを、ちがう「まいにち」に。

**TOTO**